

調整計画全体に関わる視点（案）について

第六期長期計画・調整計画策定においては、第六期長期計画策定時に議決された「市営運営の基本理念及び施策の大綱（詳細は第六期長期計画 P148 を参照）」を前提として、社会情勢の変化等を踏まえつつ、策定を進めています。

この間の市民意見等において、特に分野横断的な課題として出されていた以下の4点について、第六期長期計画策定時から新たに考慮すべき視点として、計画案作成に向けて取り入れていきたいと考えています。

1 調整計画全体に関わる視点（案）

(1) 「市民自治のあり方」の視点

武蔵野市がこれまで培ってきた市民自治の理念、市民参加の手法、コミュニティのあり方など、これまでの歴史を継承するとともに、時代の変化に応じて発展させていくことの視点。

(2) 「情報共有」の視点

受け手に「伝わる」情報発信を行うとともに、市民同士や職員同士など、横に広がる情報共有を大切にする視点。

(3) 「学び」の視点

市民同士、あるいは行政と市民がともに学び合うことにより、市民活動やまちづくりへの参加につながる循環をつくり出す視点。

(4) 「新型コロナウイルス感染症の経験」を踏まえた視点

新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた施策の展開を行うとともに、市民・議会・行政の「対話」や「話し合い」を重視した施策の展開を行うことの視点。

2 第六期長期計画における「市政運営の基本理念及び施策の大綱」について（参考）

(1) 市政運営の基本理念

- 第1 武蔵野市の目指すべき姿と基本目標
- 第2 市政を取り巻く状況
- 第3 基本的な考え方
- 第4 本計画における基本課題等
- 第5 重点施策

(2) 施策の大綱

各分野の基本施策